

外觀
appearance
詳細解説

VX-7

基本操作



MIC/SP端子

イヤホン、スピーカ・マイクなどを接続する。
特殊コネクタなので通常のイヤホンは接続できない。

アンテナ端子

SMAコネクタのアンテナを使用する。
外部アンテナを使用するには、変換コネクタ(ケーブル)が必要。



PTTスイッチ

このスイッチを押している間、送信する。

FUNC(ファンクション)スイッチ

各キーの機能を拡張する。

電源スイッチ

VFO切替スイッチ

搭載している二つのVFOを切り替える。

音量つまみ

受信音量を調整する。

ダイヤルつまみ

周波数の変更、メモリ・チャネルの選択、セット・モードの項目変更などに使用する。

ディスプレイ

各種の情報を表示する。

EXT DC端子

外部電源を接続する(DC10V ~ 14V)。内蔵バッテリーの充電を行う。

マイク

ストロボ

送信中、受信中、充電完了をそれぞれ色分けして表示する。

キーボード(テンキー)

さまざまな機能をコントロールするキーボード。
詳細は次ページ参照。

各キーの名称と動作

VX-7は「短押」、「長押」、「[FUNC]を押しながら押す」の三種類の動作によって、それぞれのキーにさまざまな機能が与えられている。

パネルを見ただけでは、各キーに与えられている機能は理解できないので、実際の操作でとまどうことも多い。

下表は、各キーに与えられている機能の一覧である。

VX-7 キーの名称と動作

キー名称	短押	長押(2秒以上)	[FUNC]を押しながら押す
PTT	----	押している間、送信状態になる	----
FUNC	----	押している間 [FUNC] キーが有効になる	----
電源	----	電源をON/OFFする	----
MAIN	操作バンドをMAINにする セット・モード時の機能選択にも使用	MAINバンドのモノバンドにする	モノバンドで使用时、周波数を表示する数字の大きさを変更する
SUB	操作バンドをSUBにする セット・モード時の機能選択にも使用	SUBバンドのモノバンドにする	モノバンドで使用时、周波数を表示する数字の大きさを変更する
SQ LV MONI F	押している間スケルチがオープンする	----	スケルチ・レベル変更モードになる
EMG	----	エマージェンシー機能を動作させる	----
HM/RV	ホーム・チャンネルを呼び出す	----	----
TXPO LK	インターネット・キー 登録したマイ・キー機能を呼び出す	ロック・モードになる	送信出力の変更
SCAN	1を入力する	----	スキャンを開始する
DW	2(ABC)	2(ABC)を入力する	デュアル・レシーブ・モードになる
TV	3(DEF)	3(DEF)を入力する	MAINバンドでTV専用メモリを呼び出す
ARTS	4(GHI)	4(GHI)を入力する	モノバンド時、ARTS機能を使用する
S.SCH	5(JKL)	5(JKL)を入力する	スマート・サーチ・モードになる
SP-ANA	6(MNO)	6(MNO)を入力する	モノバンドで使用时、スペアナを表示する
CH.CNT	7(PQRS)	7(PQRS)を入力する	チャンネル・カウンタを使用する
TAP	8(TUV)	8(TUV)を入力する	盗聴器発見機能サーチを使用する
SPCL	9(WXYZ)	9(WXYZ)を入力する	特殊メモリを呼び出す
SET	0	0を入力する	セット・モードになる
BND DN BAND *	バンドを変更する	----	逆順でバンドを変更する
WRITE MT V/M #	VFOとメモリを切り替える メモリ書き込みの決定	メモリ・チューン・モードになる	メモリの書き込みモードになる